



コスタリカ共和国 草の根技術協力

「生活改善アプローチによる農村開発モデル事業活動報告」

No. 27

2018.7.23

～セバディージャ・スルの改善グループは
「ビンゴー！！？」かも～

NPO 法人イフパット理事 永井 和夫
プロジェクトマネージャー

どうしても報告したいことがあり、出しゃばってプラ・ビダに参加させていただきます。4月22日から5月5日までの間、第3回合同調整委員会出席を主な目的として、また、6月25日から7月8日までの間は、プロジェクト活動を支援していただいている長野県松川町役場の産業観光課農業振興係の矢沢係長とコスタリカ国に出張してきました。

時間を見て生活改善グループの活動の現況を把握するため集落を訪問しました。プロジェクトでは、最初にサンタリタ、次にセバディージャ・スル、そして最後にセバディージャ・ノルテ集落で生活改善活動を開始しました。しかし活動の状況は3グループ三様、必ずしも最初に開始したグループが最も活動が進んでいる訳ではありませんでした。一筋縄では行かない生活改善アプローチによる村落開発の難しさとその奥深さを思い知らされます。

サンタリタ集落：最初に活動を始めた集落です。一貫してグループの人数も変わらず、個別の改善活動も盛んに行われてきました。しかし、リーダー格の女性が自分土地でフットサル経営を始め、生活改善活動に対する興味が薄れてしまいました。一番先頭に立って活動を行っていた女性がやむなく引越してサンタリタ集落を出て行ってしまいました。加



サンタリタのグループ会合：高齢者サービスの計画打合せ

えてグループ員の何人かが新たに職を得て会合への参加が不可能になったことから、4月に訪問した時は会合への出席者が3~5名に減っていました。今回、7月5日に集落の教会で開かれた会合に出席しました。出席者7名、参加者全員が意見を述べ合い、集落に住む高齢者支援計画の打合せを行っていました。グループが形成され、紆余曲折を経て去るべき人が去り、個人・家庭そして集落の生活改善に取り組みたいという仲間によりグループが再生し、あまり良い表現ではありませんがグループは「一皮むけた」との感じがしました。新たにグループに加わりたい意向を示す女性も現れています。サンタリタはこの地域の入植地としては古く、オロティナ市へのアクセスも良いため、可能であれば市内に職を得たいという希望が他地域より強い傾向にあります。このような社会・経済環境に必要とされる生活改善グループの姿が徐々に増えてきたような気がしました。



サンタリタ村にできたフライドチキンの店。改善グループ員の家族が事業を始めた。サンタリタ集落の市街地化が近いかもしれない。

セバディージャ・スル：INDER（農村開発庁）からの生活改善活動助成が一部グループ員



セバディージャ・スルのグループ会合：集落清掃活動の打合せが行われた。

だけを対象に実施されたため、一時、グループ崩壊の危機にありました。現在、その状況を脱し逆に結束も強くなり、他グループに先駆けグループ活動を行うまでに成長しました。グループ活動は集落清掃活動とともに、グループ員全体で行う野菜苗生産プロジェクトの準備を行っています。4月30日、グループ会合に出席しました。リー

ダー格の女性を初め、全員朗らかに、また、前向きな話し合いが持たれていました。本会合では第3回の集落清掃の打合せが行われました。近隣の住民、集落水道局の職員そしてオロティナ市役所の協力を得て総勢20名参加の活動となるそうです。既に立派な生活改善グループになっていることを確認することが出来ました。7月5日、生活改善活動の先進集落ア



セバディージャ・スル：バイオ庭園工事（アマグロ集落からの技術指導を受ける）

マグロから手助けに来た3名の協力を得て、バイオ庭園（植物の力を借りた排水浄化装置）がグループ員フローリーさんの庭に設置されました。今後、他のグループ員の家庭にも設置する計画です。浄化された水は、乾期の野菜栽培の灌水に、そして養魚のための溜め池用水に使うとのことでした。

セバディージャ・ノルテ集落：最後に活動を開始した集落です。開始後、同地区が治安の



セバディージャ・ノルテの新しい改善グループ：導入研修の様子

問題で日中といえども長く家を留守にできない状況にあるため、導入研修の参加者数も一定せず、研修が中止となったこともありました。一方で、同じセバディージャ・ノルテの他地域の女性たちから、自分たちの地域で活動を始めてほしいとの要望が



セバディージャ・ノルテのグループ会合：公民館建設のアイデアを出し合う。

あり、週1回のペースで研修を開始し既に導入研修を修了しました。参加者数も安定しており、積極性もみられ、セバディージャ・ノルテはこの新しいグループを核とし、今後の活動を進めることになりました。6月26日セバディージャ・ノルテのグループ会合に出席しました。会合では公民館建設の計画が議論されていました。

セバディージャ・スルのグループが行う集落清掃活動にはセバディージャ・ノルテのグループも参加しています。セバディージャ・スルのバイオ庭園は地域に大きなインパクトを与えるでしょう。セバディージャ・スルが起爆剤となり、サンタリタとセバディージャ・ノルテが大きく動き出すのではとの期待が膨らみます。セバディージャ・スルの生活改善グループはもしかしてビンゴー！！？かも。